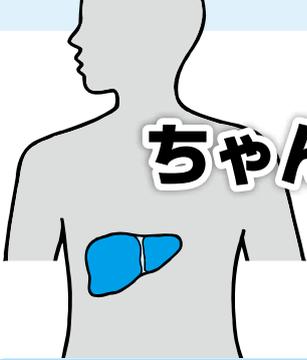
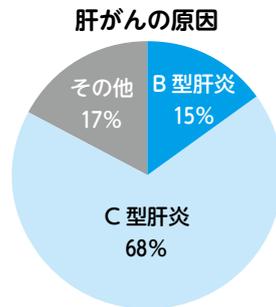
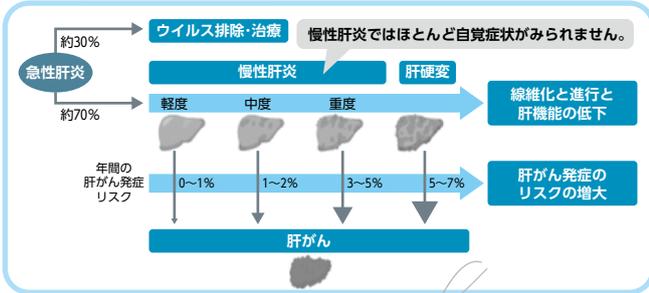


多久市肝がん撲滅プロジェクト



ちゃんと“肝炎”を理解して、 みんなで克服しよう！



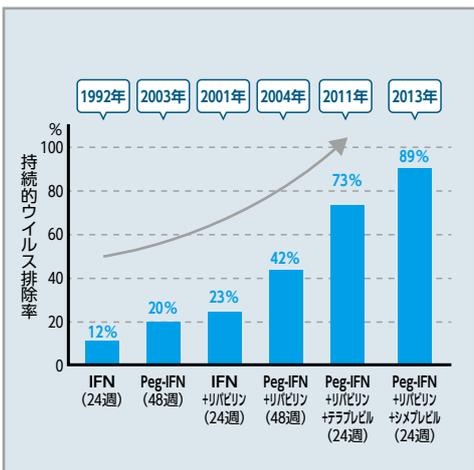
日本肝癌研究会第18回全国原発性肝癌追跡調査報告 (2004~2005)

佐賀県は肝がんによる死亡率が全国ワースト1位、多久市でも肝がんによる死亡は少なくありません。肝がんの原因のほとんどは肝炎ウイルスによるものです。

肝炎を放っておくと肝がんになることがあります

肝炎は長い年月をかけて“がん”へと進行していきます

C型肝炎ウイルスに感染すると、約3割は自然にウイルスが排除されますが、7割は慢性肝炎に移行します。C型肝炎はゆっくり進行し、次の段階に進むのに5~10年かかると言われています。



出典：日本肝臓治療ガイドライン（第3版）より作成

C型肝炎の治療には、ウイルスを抑える抗ウイルス療法が最も効果的です。抗ウイルス療法はインターフェロン（IFN）の注射に、いくつかの飲み薬を用いる治療が主流になっています。薬の進歩によって、C型肝炎に対する治療効果も格段に上がっています。

C型肝炎は治療できる時代へ

多久市では平成2年から住民健診などで20歳以上を対象に、無料肝炎ウイルス検査を実施しており、他にも手術前の検査や妊娠中の検査で肝炎ウイルス検査を実施している場合があります。

しかし、自分の検査結果を知らないという人もいらっしやいます。受けたかもしれない結果が分からない人は健康増進課へお問い合わせください。

また、肝炎ウイルス検査が無料で受けられる医療機関もあります。

肝炎ウイルス検査は受けましたか？

～主な抗ウイルス療法～

医師が、患者さんの状態に合わせて選択します。

抗ウイルス薬の種類	主な治療法	治療期間の目安		
		0週	24週	48週
注射	どちらかを注射			
	インターフェロン	1日1回または週3回		
	ペグインターフェロン	週1回		
注射 + 飲み薬	上2種のみか3種			
	ペグインターフェロン	週1回		
	リバビリン	1日2回		
	プロテアーゼ阻害剤	1日1回または3回		
注射（インターフェロン）の治療を受けられない人、または無効だった人				
飲み薬	どちらも飲む			
	ダクラタスビル	1日1回		
	アズナプレビル	1日2回		

これまでではインターフェロンを用いた治療が中心でしたが、今秋に登場した内服薬（ダクラタスビルとアズナプレビル）により、これまでインターフェロンが受けられなかった人や、治療効果がなかった人にも有効な治療が行えるようになりました。

C型肝炎に内服のみによる治療も登場